

出勤遅延に対する見せしめはやめろ！ 東修両の異常な社員管理を許すな！

2012年2月8日、東京修繕車両所で出勤遅延が発生しました。これに対して会社は、「始末書の強要」「夜出勤務を徹夜勤務へ一方的に変更」そして「翌月は日勤勤務」という見せしめの対応を強いています。そして、「出勤遅延防止について」なる模造紙大の巨大な掲示を職場に貼り出し、その中で「幹鉄全体の足を引っ張っている」「出勤遅延に対しては厳しく対処しており、繰り返し発生させた場合は相応の処分を」と脅しともとれる表現に加え「翌日の勤務を意識した節度ある生活・行動を」「2個以上の目覚ましを」などなど、私生活にまで踏み込むものとなっています。さらには、全社員に対して終業点呼時に「出勤遅延防止3原則の唱和」というものまでやらせているのです。

二重三重の処分はやめろ！

また、出勤遅延した社員に対しては「スーツで出勤しろ」と服装についてまで強要しています。このような状況下で本人は「夜も眠れない」という緊張とプレッシャーのなかで日々を過ごしているのです。

私たちJR東海労新幹線地本は、会社のこのような二重三重の処分を課す人格否定にもつながる異常な社員管理、パワーハラスメントまがいの仕打ちを絶対に許すことはできません！

新幹線地本は2月16日、業務委員会の席で「東修両における一方的な勤務変更を直ちに止めること」と抗議しました。そして2月23日、文書で申し入れました。会社は直ちに姿勢を改めるべきです！

「東京修繕車両所における出勤遅延した社員に対する見せしめの勤務変更」
に関する申し入れ (JR東海労幹地申第16号 2012年2月23日)

1. 東京修繕車両所における出勤遅延に対する見せしめの勤務変更強要は直ちに止めること。
2. 東京修繕車両所における、これまでの出勤遅延に対する「日勤勤務」指定等、見せしめ行的に行ってきた勤務変更に対して当該社員に謝罪すること。
3. 東京修繕車両所における今回の対応について、新幹線鉄道事業本部としての見解を明らかにすること。

JR東海労新幹線地本は、会社の理不尽を許さず、職場の声を反映させて聞きます！！